

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成24年1月12日 (2012.1.12)

【公開番号】特開2010-127776(P2010-127776A)

【公開日】平成22年6月10日 (2010.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2010-023

【出願番号】特願2008-303046(P2008-303046)

【国際特許分類】

G 0 1 N 1/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 1/00 1 0 1 H

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月16日 (2011.11.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 側面、第 2 側面、第 3 側面、第 4 側面、及び底面を備え、前記底面に対向する位置に、第 1 側面、第 2 側面、第 3 側面、第 4 側面に囲まれることで形成される矩形の開口面を有する箱型の採尿容器において、

前記第 1 側面は、前記第 1 側面と前記開口面との第 1 境界線に対し概平行な第 1 折線を有し、

前記第 2 側面と前記開口面との第 2 境界線から第 1 舌片部が延設され、

前記底面と前記第 1 側面との境界線から前記第 1 折線までの距離  $b$  は、前記第 1 境界線から前記第 1 折線までの距離  $a$  より短く、

前記第 3 側面には、前記開口面と前記底面との間を概 2 等分する線上の一点である第 1 点から、前記第 1 折線に延びる第 2 折線が設けられ、

前記第 4 側面には、前記開口面と前記底面との間を概 2 等分する線上の一点である第 2 点から、前記第 1 折線に延びる第 3 折線が設けられ、

容器形状から折り畳み形状に変形する際、前記第 1 折線は外側から見て谷折りされる折目となり、前記第 2 折線及び前記第 3 折線は外側から見て谷折りされる折目となる

採尿容器。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の採尿容器において、

前記第 3 側面及び前記第 4 側面のそれぞれの近傍に位置する前記第 1 舌片部の端部において、前記第 2 境界線に対して垂直方向の幅  $c$  は、 $a - b < c$  であり、

容器形状から折り畳み形状に変形する際、前記底面と第 3 側面との境界及び前記底面と第 4 側面との境界は山折りされることで、第 3 側面によって前記第 1 舌片部の端部の一方が収納される領域が形成されるとともに、第 4 側面によって前記第 1 舌片部の端部の他方が収納される領域が形成される

採尿容器。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の採尿容器において、

前記底面と前記第 3 側面との第 3 境界線の長さ  $d$  と、前記底面と前記第 4 側面との第 4 境界線の長さ  $e$  は等しく、 $2b$  以下である

採尿容器。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の採尿容器において、

前記第 1 側面は、前記第 1 折線を境として、前記開口面側の第 1 面と、前記開口面に対向する底面側の第 2 面とを有し、

前記第 1 側面の鉛直外側方向に対して、前記第 1 面は前記第 2 面より高い位置に設けられる

採尿容器。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の採尿容器において、

前記第 3 側面は、前記第 2 折線を境として、前記開口面側の第 3 面と、前記開口面に対向する底面側の第 4 面とを有し、

前記第 3 側面の鉛直外側方向に対して、前記第 3 面は前記第 4 面より高い位置に設けられ、

前記第 4 側面は、前記第 3 折線を境として、前記開口面側の第 5 面と、前記開口面に対向する底面側の第 6 面とを有し、

前記第 4 側面の鉛直外側方向に対して、前記第 5 面は前記第 6 面より高い位置に設けられる

採尿容器。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の採尿容器において、

前記底面の形状は、前記開口面から見て凸となる四角錐である

採尿容器。

【請求項 7】

前記第 1 側面は、前記第 1 側面と前記開口面との第 1 境界線に対し概平行な第 5 折線を有し、

前記第 1 側面と前記開口面との第 5 境界線から第 2 舌片部が延設され、

前記底面と前記第 1 側面との境界線から前記第 5 折線までの距離  $b$  は、前記第 5 境界線から前記第 5 折線までの距離  $a$  より短く、

前記第 3 側面には、前記開口面と前記底面との間を概 2 等分する線上の一点である第 1 点から、前記第 5 折線に延びる第 6 折線が設けられ、

前記第 4 側面には、前記開口面と前記底面との間を概 2 等分する線上の一点である第 2 点から、前記第 5 折線に延びる第 7 折線が設けられ、

容器形状から折り畳み形状に変形する際、前記第 5 折線は外側から見て谷折りされる折目となり、前記第 6 折線及び前記第 7 折線は外側から見て谷折りされる折目となる

採尿容器。

【請求項 8】

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の採尿容器を熱成形するための型。